

あわつと感染症情報 (2025-33)

・千葉県安房保健所発
2025 年 8 月 22 日配信

☆今週のトピックス☆

国内で重症熱性血小板減少症候群(SFTS)が発生しています。

国内での患者報告数は、近年では年間100例を超えており、これまでは西日本を中心に報告されていましたが、北海道で初めて症例が確認され、今後は他の地域においても患者が報告される可能性があります。

SFTS は、ウイルスを保有するマダニに刺されることで感染します。また、ウイルスに感染した犬や猫に咬まれたり、血液などの体液に直接触れることで感染することも報告されています。

現在、マダニの活動が活発な時期ですので、山や草むらに入る際は、虫よけの使用や長袖・長ズボンなどの肌の露出が少ない服装、帰宅後はシャワーや着替えをするといった対策を心がけましょう。

！重症熱性血小板減少症候群(SFTS)は 4 類感染症です。... 保健所へご相談を！
診断した医師は、直ちに最寄りの保健所に発生届を提出する必要があります。

<参考>・重症熱性血小板減少症候群(SFTS)について(厚生労働省)

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000169522.html>

・ダニ媒介感染症啓発ツール(厚生労働省) <https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164495.html>

・重症熱性血小板減少症候群(SFTS) 診療の手引き 2024年版(厚生労働省)

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/001229138.pdf>

国外でチクングニア熱が発生しています。

今年、7 月に中華人民共和国でのチクングニア熱の患者急増が報告されました。

チクングニア熱は、チクングニアウイルスを持った蚊(ネッタイシマカ・ヒトスジシマカ)に刺されることによって生じる感染症です。

夏休みであるこの時期に、海外へ渡航する方も増えることが予想されます。海外では、チクングニア熱に限らず、日本では感染しない蚊媒介感染症も多くあり、注意が必要です。

<参考>・チクングニア熱について(厚生労働省) <https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000168030.html>

・「蚊媒介感染症の診療ガイドライン(第5.1版)」<https://www.mhlw.go.jp/content/000477538.pdf>

・蚊媒介感染症(厚生労働省) <https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164483.html>

☆安房管内の感染症発生状況☆

新型コロナウイルス感染症

安房

県内

★安房管内における2025年第33週(令和7年8月11日～令和7年8月17日)の定点医療機関あたりの報告数は4.67人と前週5.00人と比べ、減少しました。

(県全体の報告数は5.81人と前週8.88人と比べ、減少)

<参考>・新型コロナウイルス感染症について(千葉県)

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kenfuku/kansenshou/ncov/covid19-chiba-index.html>

・新型コロナウイルス感染症への対応(千葉県)

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kenfuku/kansenshou/ncov/covid19-category5.html>

ヘルパンギーナ

安房

県内

★安房管内における2025年第33週(令和7年8月11日～令和7年8月17日)の定点医療機関あたりの報告数は1.00人と前週0.75人と比べ、増加しました。

(県全体の報告数は0.56人と前週1.53人と比べ、減少)

<参考>・ヘルパンギーナ(厚生労働省)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/herpangina.html

✿ 安 房 管 内 の 全 数 届 出 疾 患 ✿

全数届出疾患:全ての医師の方は、対象の感染症の診断を行った際に、掲載の届出様式により最寄りの保健所に届け出る必要があります。

< 2 類感染症 >

★結核 1件

結核は、結核菌によって発生するわが国の主要な感染症の一つです。

結核菌は主に肺の内部で増えるため、咳、痰、発熱、呼吸困難等、風邪のような症状を呈することが多いですが、肺以外の臓器が冒されることもあり、腎臓、リンパ節、骨、脳など身体のあらゆる部分に影響が及ぶことがあります。

特に、小児では症状が現れにくく、全身に及ぶ重篤な結核につながりやすいため、注意が必要です。

< 参考 > 結核について(千葉県) https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou03/

< 4 類感染症 >

★日本紅斑熱 1件

日本紅斑熱は、病原体を持つマダニに咬まれることで感染します。

マダニの多くは、春から秋にかけて活動が活発になり、農作業や草刈りなどで山林や草むらに立ち入る際には、①長袖、長ズボンなど肌の露出のない服装にする②忌避剤(防虫スプレー)を使用する③帰宅したらすぐに着替え、シャワーを浴びる、などの対策をしましょう。

< 参考 > 日本紅斑熱について(千葉県) <https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/eiseikenkyuu/virus/madani.html>

< 5 類感染症 >

★百日咳 3件

百日咳菌の感染によって、特有のけいれん性の激しい咳発作(痙攣発作 けいがいほっさ)を特徴とする急性の気道感染症です。

若年層の患者が多く、学校や施設で感染が拡大する可能性がありますので、マスクや換気等の基本的な感染対策を徹底しましょう。

★梅毒 1件

梅毒は、セックスなどによってうつる感染症です。性器と性器だけでなく、性器と口の接触(オーラルセックス)、性器と肛門(アナルセックス)等でも感染します。

検査や治療が遅れたり、治療せずに放置したりすると、長期間の経過で脳や心臓に重大な合併症を起こすことがあります。

梅毒は保健所で無料・匿名で検査できます。感染の早期発見・早期治療のために、感染が気になる方は検査を受けましょう。

★侵襲性肺炎球菌感染症 1件

侵襲性肺炎球菌感染症は、肺炎球菌による侵襲性感染症(本来無菌環境である部位から起因菌が分離された感染症)のうち、この菌が髄液又は血液から検出された感染症のことをいいます。

気道感染症(肺炎、気管支炎、中耳炎、副鼻腔炎など)に加え、侵襲性感染症(菌血症、髄膜炎など本来無菌的な部位に菌が侵入することで起こる疾患)を引き起こします。

< 参考 > 百日咳(厚生労働省)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/whooping_cough.html

・梅毒が増えていきます(千葉県) <https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/baidoku.html>

・HIV 検査 | 安房保健所(安房健康福祉センター) <https://www.pref.chiba.lg.jp/kf-awa/kenkousoudan/eizukensa.html>

・侵襲性肺炎球菌感染症(日本感染症学会) <https://www.kansensho.or.jp/ref/d38.html>

【配信元】

千葉県安房保健所(安房健康福祉センター)

あわつと感染症情報

awat-news@mz.pref.chiba.lg.jp